

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の地域課題と考えられるのは、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくり等が挙げられる。

開設より10年が経過して、ケアプラザが福祉保健の幅広い相談窓口として地域に認知されてきており、今後は高齢者・子ども・障害者などあらゆる地域住民が、孤立することなく支え合える地域づくりのお手伝いを目指していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○積極的に4地区の活動や会議の場に参加することで、気軽に相談しやすく、声を掛けやすい関係づくりに努める。住民の思いを丁寧に受け止めながら、将来性についても一緒に考えていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○みんなde食堂ヘルキーカフェは、子育てNPO法人・民間企業・地域ボランティアなどと連携をして実施し、地域で課題を抱える家庭を支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○各地区担い手の高齢化、人材不足の課題が挙げられているため、まず地域活動への参加のきっかけ作りや担い手発掘育成を目指して、スリーA講座、男性向けのコーヒー講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○「オレンジカフェ」の意義を地域の皆様にさらにご理解いただき参加者を募る。 ○地域の見守り「ピーポーワン」事業を開催してメンバーを増やしていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○介護と財産管理というテーマで成年後見制度の講座を開催して子ども世代の参加を呼びかける。個別相談会同時開催し、講座内でエンディングノートの広報をする。 ○消費者被害や虐待に関しても出張講座で普及啓発していく。 ○虐待チェックシートを関係機関に配布し虐待防止を注意喚起する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○地域との関係づくりは年々緊密になっており、協力関係が進んでいます。各地域ごとにサロン等が立ち上がり、ケアプラザ職員も関わることで地域とのつながりが深まっています。
○自主事業については、「介護と相談セミナー」や「みんなde食堂ヘルキーカフェ」等の新規事業は概ね好評です。また、介護予防・認知症予防を中心とした既存事業についても回数や規模が増加しており、充実してきています。
○ケアプラザ内5職種による連携もすすんでおり、協力して各種事業に取り組んでいます。

区からのコメント

様々な機会を捉え、地域に出向いて関係づくりを進めることができています。地域ケアプラザからの情報発信を積極的に行うとともに、地域から寄せられた相談に真摯に向き合うことで、良好な協力関係が築かれています。
多世代のニーズに応える自主事業も数多く実施されており、地域住民が地域ケアプラザを身近に感じるきっかけにもなっています。認知症講座やサポーター養成講座を数多く開催していただき、普及啓発に一定以上の成果をあげています。

令和元年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>相談業務において事業者の情報を提示する際は、相談者に一覧表を提示し、相談者の方の意向を聞いた上で、空き状況を確認し、お伝えしていきます。</p> <p>所内会議で、一覧表の提示を再確認して徹底します。</p> <p>相談者の方に、お任せする、と言われた際にも、一覧表をお見せして、再度相談者のご意向を確認していきます。</p>	<p>事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行います。事故予防・事故対応マニュアルは、事務所内に誰でも閲覧できるようにしています。</p> <p>介護事故・交通事故・個人情報漏洩(コンプライアンス)事故など、各々の事故においてマニュアル及び連絡網に従い区・市役所、ご利用者ご家族、関係事業者等に連絡・報告を行い適切に対処いたします。</p> <p>所長不在の場合も職員が連絡・報告するよう日頃から周知いたします。</p> <p>また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、ケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、ヒヤリ、ハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行っていきます。</p> <p>再発防止策は現場職員も含めて検討し、ミーティング等を通じて職員全体に周知します。</p> <p>個人情報の管理については、個人情報安全管理マニュアル及び個人情報に関わる書類送付・返却についての業務確認書に従い、適正な管理に努めます。また、全職員に対し個人情報取扱い研修を実施し、個人情報保護に関する誓約書への署名と、個人情報漏洩防止チェックシートの提出を義務付けます。</p>
実績	<p>計画通りに実施致しました。相談者の意向を確認するとともに、事業者は偏りがないように情報提供しました。</p>	<p>個人情報漏洩事故は発生しませんでした。通所介護にて転倒骨折事故及び送迎者接触事故が発生いたしました。更に事故防止に取り組んでいきます。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業						居宅介護支援事業					
目標	<p>要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。</p>						<p>居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。</p> <p>地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。</p>					
職員体制	<p>保健師等 1名(常勤兼務) 社会福祉士 2名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)</p>						<p>管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤専従)</p>					
利用者実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	25	25	24	23	22	21	91	91	99	102	101	99
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	21	19	22	22	21	20	98	98	96	92	90	88

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護						第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護					
目標												
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】						【実施日数】 【提供時間】 【定員】					
実費負担												
職員体制												
利用者実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

令和元年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,053,278	0	16,053,278	16,053,278	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	550,000		550,000	410,275	139,725	
雑入	0	0	0	2,282	△ 2,282	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	2,282	△ 2,282	
その他			0		0	
収入合計	16,603,278	0	16,603,278	16,465,835	137,443	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,900,000	0	10,900,000	11,147,220	△ 247,220	
本俸	7,500,000		7,500,000	7,452,047	47,953	
社会保険料	950,000		950,000	906,761	43,239	
手当計	2,295,000		2,295,000	2,635,921	△ 340,921	
健康診断費	49,000		49,000	49,913	△ 913	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	96,990	3,010	
その他	6,000		6,000	5,588	412	
事務費	1,347,000	0	1,347,000	1,514,952	△ 167,952	
旅費	10,000		10,000	6,879	3,121	
消耗品費	210,768		210,768	357,856	△ 147,088	
会議謝礼金	0		0	0	0	
印刷製本費	100,000		100,000	109,107	△ 9,107	
通信費	24,000		24,000	240,217	△ 216,217	
使用料及び賃借料	5,232	0	5,232	5,232	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,232		5,232	5,232	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	92,000		92,000	0	92,000	
職員等研修費	3,000		3,000	7,862	△ 4,862	
振込手数料	61,000		61,000	64,694	△ 3,694	
リース料	198,000		198,000	8,263	189,737	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	5,375	△ 5,375	
その他	443,000		443,000	709,467	△ 266,467	
事業費	1,030,278	0	1,030,278	930,780	99,498	
運営協議会経費	42,000		42,000	28,409	13,591	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	988,278		988,278	902,371	85,907	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,871,000	0	1,871,000	1,780,880	90,120	
光熱水費	810,000		810,000	855,300	△ 45,300	
清掃費	330,000		330,000	334,394	△ 4,394	
機械整備費	80,000		80,000	83,007	△ 3,007	
設備保全費	340,000	0	340,000	400,907	△ 60,907	
空調衛生設備保守	131,000		131,000	145,056	△ 14,056	
消防設備保守	28,000		28,000	27,669	331	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	17,000		17,000	17,217	△ 217	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	164,000		164,000	210,965	△ 46,965	
共益費	0		0	31,382	△ 31,382	
その他	311,000		311,000	75,890	235,110	
修繕費	474,000		474,000	101,273	372,727	
公相公課	981,000	0	981,000	1,003,249	△ 22,249	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	981,000		981,000	1,003,249	△ 22,249	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	16,603,278	0	16,603,278	16,478,354	124,924	
差引	0	0	0	△ 12,519	12,519	

自主事業費 収入	550,000	0	550,000	410,275	139,725	
自主事業費 支出	988,278	0	988,278	902,371	85,907	
自主事業 収支	△ 438,278	0	△ 438,278	△ 492,096	△ 333,127	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,232	0	5,232	5,232	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,232	0	△ 5,232	△ 5,232	△ 913	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和元年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,811,968	0	27,811,968	27,811,968	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	152,400		152,400	152,400	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,000		5,792,000	5,792,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	130,000		130,000	36,200	93,800	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	20,000		20,000	21,100	△ 1,100	
雑入	0	0	0	328	△ 328	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	328	△ 328	
その他			0	0	0	
収入合計	33,906,368	0	33,906,368	33,813,996	92,372	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,033,856	0	30,033,856	24,207,492	5,826,364	
本俸	16,699,000		16,699,000	13,364,359	3,334,641	
社会保険料	3,754,000		3,754,000	3,055,361	698,639	
手当計	8,992,856		8,992,856	7,252,793	1,740,063	
健康診断費	30,000		30,000	22,137	7,863	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	541,000		541,000	496,080	44,920	
その他	17,000		17,000	16,762	238	
事務費	1,900,000	0	1,900,000	2,122,194	△ 222,194	
旅費	20,000		20,000	23,629	△ 3,629	
消耗品費	113,000		113,000	133,251	△ 20,251	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	119,000		119,000	118,437	563	
通信費	417,000		417,000	389,095	27,905	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	40,000		40,000	37,400	2,600	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	51,000		51,000	0	51,000	
職員等研修費	58,000		58,000	38,634	19,366	
振込手数料	72,000		72,000	77,493	△ 5,493	
リース料	674,000		674,000	19,193	654,807	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	27,375	△ 27,375	
その他	336,000		336,000	1,257,687	△ 921,687	
事業費	1,368,512	0	1,368,512	486,120	882,392	
協力医	630,000		630,000	126,000	504,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	254,112		254,112	38,561	215,551	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	152,400		152,400	152,974	△ 574	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	332,000		332,000	168,585	163,415	
その他			0	0	0	
管理費	478,000	0	478,000	473,391	4,609	
光熱水費	192,000		192,000	227,357	△ 35,357	
清掃費	88,000		88,000	88,889	△ 889	
機械警備費	22,000		22,000	22,064	△ 64	
設備保全費	88,000	0	88,000	106,567	△ 18,567	
空調衛生設備保守	35,000		35,000	38,559	△ 3,559	
消防設備保守	8,000		8,000	7,354	646	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	4,576	424	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	40,000		40,000	56,078	△ 16,078	
共益費	0		0	8,342	△ 8,342	
その他	88,000		88,000	20,172	67,828	
修繕費	126,000		126,000	26,917	99,083	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	33,906,368	0	33,906,368	27,316,114	6,590,254	
差引	0	0	0	6,497,882	△ 6,497,882	

自主事業費 収入	150,000	0	150,000	57,300	92,700	
自主事業費 支出	738,512	0	738,512	360,120	378,392	
自主事業 収支	△ 588,512	0	△ 588,512	△ 302,820	△ 285,692	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和元年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名: 横浜市常盤台地域ケアプラザ

(単位: 千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	2,002	1,832	170	1,281	1,120	161	21,571	18,958	2,613	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	437	351	86	0	0	0	0	0	0
事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定調査委託料	0	0	0	0	0	0	437	333	104	0	0	0	0	0	0
実習費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金利息補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金償還補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	18	-18	0	0	0	0	0	0
収入合計(A)	2,002	1,832	170	1,281	1,120	161	22,008	19,309	2,699	0	0	0	0	0	0
支出															
人件費	1,891	246	1,645	1,209	246	963	18,417	17,052	1,365	0	0	0	0	0	0
事務費	111	60	51	72	60	12	1,251	1,256	-5	0	0	0	0	0	0
事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	94	-94	0	94	-94	1,020	1,161	-141	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	70	0	70	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本部繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	70	0	70	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	2,002	400	1,602	1,281	400	881	20,758	19,469	1,289	0	0	0	0	0	0
収支(A)-(B)	0	1,432	-1,432	0	720	-720	1,250	-160	1,410	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和元年度 自主事業報告書

事業	1 地域活動交流事業 2 地域包括支援センター運営事業 3 生活支援体制整備事業 4 共催(1と2)	5 共催(1と3) 6 共催(2と3) 7 3事業共催(1と2と3)	対象者	1 高齢者 2 障害児・者 3 養育者及び乳幼児 4 子ども・青少年	5 地域 6 事業者 7 その他
事業の性質	1 優先的に取り組みが求められる事業 2 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業				

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年度	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り組	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場を目的とする。ケアプラザに来てもらうことで子育てに関する情報交換もでき、相談の場である事も知ってもらう。	4月わくわくお話し会・マイミニアムを作ろう 5月わくわくお話し会・バラパルーンであそぼう 6月音とリズム遊びおやつ試食会・子育てサポートシステム説明会 8月夏まつり 9月音とリズム遊び&運動会 10月緑川先生と遊ぼう 11月ピアノにあわせて歌おう 1月わくわくお話し会・手作り楽器でみんなで歌おう!	7	264
2	ときわの森らくらくストレッチ体操教室	平成22年度	1 地域交流	1 高齢者		1 優先的に取り組	主に高齢者を対象とした体操教室。健康維持・転倒予防を目的とする。	無理なく・安全に椅子に座って行うストレッチ体操。講師の楽しい会話を交えながら解り易動きを進めた。 ・2019年4月・5月・6月・7月・9月・10月・11月・2020年1月・2月・3月	9	153
3	ときわの森美と健康体操	令和元年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	美しい姿勢を保つためのストレッチ、心身ともに健康なる事をお意識して運動をすることで健康を維持する事を目的とする。	脳トレーニング・ストレッチ・体幹トレーニング・姿勢分析などを健康運動指導士が身体の状況を見ながら指導した。 ・原則毎月第1・3水曜日。	20	219
4	ときわの森和菓子&パン教室	平成24年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	比較的、若い世代の方々に参加してもらうことを目的として、イベントなどで活躍できる調理ボランティアの発掘につなげていく。	4月・5月・6月は3回シリーズで和菓子を作成(いちご大福・柏もち・わらびもち・水ようかん) 7月は3回シリーズ応用編 10月パン作成・12月クリスマスメニュー・2020年2月和菓子作成 上記の内容で講師とケアプラザ職員・ボランティアで参加者と交流を図りながら作成した。	6	46
5	歌声サロン	平成24年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	地域の中高齢者を対象に開催。皆で声を出して歌うことで、地域住民同士の交流を図りながら、健康維持にもつなげていく。	音なつかしい・思い出の歌をピアノの伴奏で参加者皆で歌う。11月の利用者発表会で披露した。 ・毎月第1火曜日。	11	674
6	ときわの森初級韓国語講座	平成24年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	横浜国立大学の留学生と地域住民との語学を通じて交流を図る。	韓国語初級のテキストに添って読み・書き・会話を実施した。 ・毎月第1・3火曜日。	19	193
7	園芸ボランティア活動	平成23年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	ケアプラザ・コミュニティハウスの共有部分である中庭と施設周辺を整備することで緑化を推進し、イベント時にボランティアとして活躍の場が生じ、同時にボランティア発掘にもつなげていく。	共有部分の中庭や施設周辺をボランティア同士で定期的ボランティアに集まってもらい、イベント時には花の寄せ植えを作成して地域住民に向けて販売した。草花の購入など、常盤台コミュニティハウスと相談の上実施した。 ・毎月第3月曜日。	11	75
8	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成26年度	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り組	障がいを持っているお子さんと親の放課後支援を目的とし、親子同士の交流も図る。	音楽療法を行える専門の講師を招いて、発達の統合調整を行った。 ・毎月第1水曜日。	9	80
9	あったかほがやみんなde食堂ヘルキーカーフェ	平成29年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	子どもから高齢者までの地域住民の孤食予防及び貧困対策を目的として食堂を実施する。	地域の企業と連携をして廃棄食材を利用して調理を行い、地域の高齢者や子ども達がケアプラザに集まって一緒に食事をした。食事時間は17時～18時30分まで当日提供された食材によってメニューを決めて50食目途に実施。調理はぎんがむら・チャットが担当。配膳等はボランティアの協力を得た。食材は地域の企業からの寄付や、野菜は地域の農家より協力があった。 ・隔月第2金曜日。	5	370
10	ときわカフェ	平成23年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	地域の方々が気軽に立ち寄り、おしゃべりのできる場所を提供し、年齢を問わず地域住民同士のつながりを築いていく事を目的とする。	民生委員が中心となって、コーヒー・紅茶・日本茶にお菓子を添えて100円で提供した。障害者支援施設によるパン販売も同時に開催。 ・毎月第4金曜日。	8	364
11	ときわの森おもちゃ病院	平成30年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組	おもちゃドクターとしてボランティアで協力していただき、壊れてしまったおもちゃを修理してもらうことで物の大切にすることを伝えていく。	子育て広場へ参加の親子や地域の方々が壊れたおもちゃを持参し、ボランティアが診断して原則無料で修理した。 ・毎月第4木曜日。	10	70

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
12	幼稚園ママに幼稚園のことを聞いちゃおう!	平成30年度	1 地域交流	7 その他		1 優先的に取り組み	入園前の子ども保護者対象に、幼稚園のホームページや説明会でわからない事を先輩ママの目線から、幼稚園選びに関する話や疑問点などを訪ね、交流を図る。又地域の子育て支援の役割を果たしていく。	幼稚園の事を良く知っている母親から、これから進ませようとしている母親との情報交換会を開催した。 ・5月30日(木)。	1	30
13	ときわの森七タコンサート	平成23年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	近隣の小学校及び大学がケアプラザで演奏会を開くことと地域と音楽を通して交流を図る。	横浜国立大学吹奏楽団と常盤台小学校生徒によるマーチングバンドによる地域住民向けの演奏会。 ・7月6日(土)。	1	350
14	ピザ作りにチャレンジ	平成30年度	1 地域交流	4 子ども		1 優先的に取り組み	子ども同士一緒にピザ作りをすることで、もの作りの楽しさを感じ取ってもらう。コミュニティハウスの寺子屋事業の一環とすることで、より多くの小学生参加者が見込まれる。	小学生を対象にしてケアプラザ職員とボランティアと一緒にピザ作り体験をして、出来上がったピザを試食した。 ・7月29日(月)。	1	12
15	ときわの森子育て広場水遊び親子でサマーパーティー	令和元年度	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り組み	水遊びによる地域の子ども同士の交流や親同士の情報交換の場。学生ボランティアと子どもたちとの交流も図る。	ケアプラザの庭を利用して水鉄砲や水風船などで遊ぶ。 ・7月25日(木)。	2	72
16	ときわの森ハハトコ広場	平成26年度	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り組み	土曜日を利用して母親だけでなく、父親も参加して親子同士の交流を図る。	親子参加での運動や踊りの実施。 ・2月22日(土)。	1	12
17	ほっとフレンズ2019夏ボランティア研修・説明会・夏祭り	平成20年度	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。 ③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。	区内ケアプラザ合同で開催。レクリエーションとして夏祭りを企画して、模擬店など中心で開催。開催前にボランティアの事前説明会と研修を実施。 ・7月27日(土)。 ・8月4日(日)。	2	74
18	10周年記念式典ヘルシー秋フェスタ&利用者発表会	平成29年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	10年記念式典を開催。利用者発表会・作品展・ボランティアの協力で手作り食品販売・花・野菜・販売を実施。 ・10月6日(日)。	1	400
19	ときわの森親子で楽しむクリスマス人形劇	平成23年度	1 地域交流	4 子ども		1 優先的に取り組み	休日に親子や家族で楽しんでもらいながら、子育て中の親子同士の交流を図る。	クリスマスにちなんだ内容で人形劇を開催、ボランティアが作成したお菓子をプレゼントした。 ・12月7日(土)。	1	48
20	ときわの森お正月料理と調理室大掃除	平成29年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	ボランティアの受入施設として、調理室を利用して、正月用料理教室及び調理室掃除をボランティアを含め地域住民へ参加を募り、今後のケアプラザ事業やイベント時に協力参加してもらえるよう周知していく。	お正月用メニューを作成し試食後、参加者と職員で調理室の掃除を行った。 ・参加者都合にて中止。	0	0
21	ほどがや区民まつりの参加	平成20年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザを周知してもらえようという企画を考え利用促進につながるよう目録やポスターやチラシを来場者に配布した。 ・雨天中止。	0	0
22	第6回ボランティア感謝祭	平成25年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	活動団体の交流の場を設けることで、お互いの活動内容を把握でき、活動の励みになる。継続的なボランティア活動ができる場としてケアプラザで支援していく事も目的とする。	ケアプラザや他の施設でボランティア活動をされている団体及び個人を招き、ボランティアグループによる演奏を楽しんでいた。その他食事も、各団体・個人ボランティアの自己紹介・意見交換会などの内容で開催。 ・11月7日(木)。	1	18
23	ときわの森赤十字救急法基礎講習&救急員養成講習	平成21年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	救急法 基礎講習&救急員養成講習。	日本赤十字社の指導員のもと3日間で心肺蘇生法・AEDの使用法・気道異物除去法・傷の手当て(包帯・止血方法)緊急搬送・担架搬送・応用担架等を学ぶ。修了者に対して受講証書を発行した。 ・1月11日(土)・12日(日)・13日(月)。	3	105
24	第11回桜まつり	平成21年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	・地域の方々の協力を得て衣類・小物・雑貨などを持ちよっていただき、バザーを開催。 ・子どもによるフリーマーケットの開催・ボランティアと職員によるちらし寿司・桜もち・やきそば・フランクフルトの作成及び販売。 ・コミュニティハウスによるパウンドケーキの作成及び販売。 ・常盤台ヘルスメイトによるみそおでん作成および販売。 ・園芸ボランティアによる寄せ植えおよび販売。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	0
25	ときわの森幼児のための救急法	平成27年度	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り組み	子育て中の親や家族に向けて幼児安全法を知識を習得する事でいざという時に役立ててもらおう。	日本赤十字社より講師を招いて幼児の怪我の対処方法や止血などの方法を様々な過程を想定して学ぶ。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	0

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
26	ほっとフレンズ2020 春ボランティア研修・説明会・春まつり	平成20年度	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。	区内ケアプラザ合同で開催。レクリエーションとして春祭りを企画して、模擬店など中心に開催。開催前にボランティアの事前説明会と研修を行う。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	0
27	障害児余暇支援事業外出企画	平成30年度	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り	障がいを持っていても充実したひと時を過ごせる活動の場の提供として、親子で安心して外出のできる場所を利用して親子同士の交流を図る。ケアプラザが連携して合同事業の拡充を図る。	保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート助成金を活用して、親子で学んで楽しめるような場所に皆で一緒に外出をする企画。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	0
28	貯筋運動	平成25年度	2 包括	1 高齢者		1 優先的に取り	地域住民の健康づくりを行う。介護予防の普及・啓発を行い、講座の自主化を目指す。	貯筋運動や運動に関するDVDを見ながら、体操を行った。 ・第2、第4木曜日 年21回開催。	16	121
29	スポーツ吹き矢	平成25年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取り	地域住民の健康づくり。スポーツ吹き矢を楽しみながら、口腔機能の向上を図る。	指導員の指導を受けながらスポーツ吹き矢を行った。 ・第2、第4水曜日 年24回開催。	21	346
30	体験！実践！スリーA講座	令和元年度	6 3 共催（2と）	1 高齢者		1 優先的に取り	スリーAを体験しながら学び、地域のサロンや体操グループでリーダーとしてメンバーと一緒にスリーAを実施できる担い手の育成を目的とする。また、認知症予防に対する意識の向上を目指す。	・今後、地域のサロン等で実践して下さる方を中心に全3回のスリーA講座を受講していただき、楽しみながら継続実施した。 ・6月2回、7月1回 年3回開催。	3	65
31	きらきら長寿ときめき塾	平成30年度	2 包括	1 高齢者		1 優先的に取り	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施に対する意欲を高める。	介護予防のための運動、口腔、栄養の4講座を開催し、知識や実践方法を提供する。 ・年5回実施 6月、9月、10月、12月。	4	51
32	きらきら長寿ときめき塾（峰沢町・岡沢町）	平成30年度	2 包括	1 高齢者		1 優先的に取り	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施に対する意欲を高める。	介護予防に効果的な栄養摂取方法や、ロコモ予防に対する知識を提供した。 ・年1回 7月。	1	53
33	きらきら長寿ときめき塾（峰沢団地）	平成30年度	2 包括	1 高齢者		1 優先的に取り	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施に対する意欲を高める。	ロコモ予防講座を開催し、楽しみながら取り組める知識や方法を提供した。 ・年1回 11月。	1	13
34	スクエアステップリーダー・スキルアップ講座	平成30年度	6 3 共催（2と）	1 高齢者		1 優先的に取り	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象として、スキルの向上とグループ活動の活性及び継続支援を目的とする。	講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割についても指導を受けた。また、リーダー同士の交流も行った。 ・年1回 9月。	1	26
35	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年度	6 3 共催（2と）	1 高齢者		1 優先的に取り	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	作業療法士より、リーダーの役割やグループ運営を円滑に楽しく行う工夫などを講義いただいた。 ・年1回 10月。	1	14
36	ノルディックウォーキング（横浜国大編）	平成30年度	2 包括	1 高齢者		2 ねらいさせる	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく過ごしていけるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。隣接の神奈川県との交流を図る。	講師の宮地先生の指導のもとで横浜国大の構内を、楽しみながらウォーキング。また、神奈川県若竹苑のグループとの交流の場とした。 ・年1回 10月。	1	44
37	簡単！身につく！体力測定（生かそう！体力測定から名称変更）	令和元年度	6 3 共催（2と）	5 地域		1 優先的に取り	体育協会指導員による体力測定のフォローアップ。地域で体力測定を自分たちの力でできる人材の育成や担い手の発掘を目的とする。	昨年度、同講座を受講した方及び体力測定を手伝って下さる方に対して、体育協会指導員よりフォローアップ指導をしていただいた。 ・年1回 2月。	1	15
38	脳とからだをスイッチオン！（楽しく介護予防から名称変更）	令和元年度	6 3 共催（2と）	1 高齢者		1 優先的に取り	きらり☆シニア塾や各地域活動グループの担い手の育成および継続支援。	地域活動グループで楽しみながら認知症予防を実践できるよう、講師より指導。 ・年1回 3月。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	0	0
39	介護者のつらい「ゆづる」	平成22年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取り	認知症の方を介護されている家族を対象に、定期的な意見交換や交流を行い、リフレッシュ出来る場を設けることで介護の抱え込みや介護負担の軽減を図ることを目的とする。	毎回テーマを設けながら介護者同士の意見交換を行った。ミニ講座や施設見学、懇談会など実施。 ・年5回5・7・9・11・1月開催。	5	23

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
40	オレンジカフェ	平成27年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	認知症の人と家族支援に向けた取り組みのひとつとして「認知症カフェ」とする。認知症当事者の方にボランティア登録していただきちょっとした見守りの中で得意分野の活動をしていただいたり多くの方と交流を持っていただくことで日常生活の活性化を目指していく。	認知症当事者の方もそうでない方も、誰もが集うカフェを開催。ボランティアによる手作り菓子と飲み物を提供しゆっくりと和む時間と交流できる場所を提供した。 ・年6回4・6・7・9・10・12月地域の福祉施設の1Fロビーをお借りし10時から12時まで開催。	6	177
41	認知症サポーター養成講座	平成22年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	認知症について正しく理解をし、認知症や家族に対して温かい目で見守れる人を地域に増やし、安心して暮らせる地域作りを目的とする。	各自治会、学校、企業、ケアプラザ事業参加者等に向けて、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を寸劇を交えた講座を開催。	7	611
42	健康講座	平成29年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	保土ヶ谷中央病院と共催事業として地域住民向けに情報発信することで、いつまでも住み慣れた地域で誰もが健康的に過ごせることに役立てる健康講座としたい。	専門医に講師を依頼し年2回講座開催。 3回目は糖尿病さくら会の主催で調理教室を開催。	3	81
43	終活講座	平成22年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	相続・介護・遺言・成年後見をテーマにして講座を行い地域住民への権利擁護の意識を高め自己実現が図れる事を目的とする。	5月・11月は司法書士事務所に依頼し「失敗しない相続・介護」。 7月はNPO・信用金庫へ依頼し「家族信託と成年後見」というテーマでそれぞれ講座を開いた。 対象は地域の方、ケアマネジャー、民生委員等。	3	103
44	区内認知症講座	平成27年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない方々へ認知症に関する正しい知識を持って頂く機会とする。ケアプラザに関する周知活動も行うことで、区内全体でのケアプラザへの認知度向上を目指す。	・聖隷横浜病院「市民公開講座『脳卒中最前線』2019」10月5日(38名) ・育生会横浜病院「育生会市民公開講座 ～地域の中で豊かに暮らす～【第5回認知症講座】」11月30日(20名) ・聖隷横浜病院「認知症サポーター養成講座」1月14日(19名) ・横浜市民病院「認知症講座 認知症かな?と思ったら」1月28日(16名) ・保土ヶ谷中央病院3月4日コロナウイルス感染防止のため中止	4	93
45	PI-PO-WAN事業(ピーポーワン)	平成27年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取 り組み	愛犬家にボランティア登録を依頼し、愛犬との散歩時、「街の見守りの輪」を広げてもらうことを目標とする。	「PI-PO-WAN(ピーポーワン)」事業で呼びかけが出来ていない地区を中心に、職員が出向き新規登録者を募集。1月に開催。	1	6
46	ワークショップ	平成23年度	3 制 生活 整備 事業 支援 体	5 地域		1 優先的に取 り組み	老後も住み続けられるまちづくりに向けた地域住民主体のワークショップ。「羽沢横浜国立大学駅」開通のタイミングでまちへのさらなる興味、愛着を持つことを目標とする。	今年度は「まちの案内板」作成に向けた研究・検討を実施。 ・年6回 6月、8月、9月、11月、12月、2月	6	200
47	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年度	6 3 共 催 (2 と)	1 高 齢 者		1 優先的に取 り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。自分たちの楽しみの他に、活躍の場が広がるようカフェ形式も開催。定期的な集まりの場を活かし、男性への介護予防の普及啓発もあわせて行う。	コーヒーの淹れ方や知識を学ぶ。地域向けカフェを開催。 ・第2水曜日。	11	153
48	「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会	平成29年度	4 2 共 催 (1 と)	1 高 齢 者		1 優先的に取 り組み	ボランティアの受入施設として、ボランティアに参加するきっかけづくり、新たな担い手の発掘育成のために開催する。またボランティア活動を通して高齢者社会参加、いきがいづくりも目的とする。	ケアプラザの職員が講師として、事業の概要、ボランティアの基礎知識及び留意点を説明。 ・9月4日(水)。	1	10
49	男子の料理教室	平成22年度	1 地 域 交 流	5 地 域		1 優先的に取 り組み	男性が活躍するためののきっかけ作りとなる事を目的として、将来一人になっても困らないための料理教室。	活動団体のだいこんくらぶの方々とヘルスマイトの協力も得て一緒に料理を楽しみ、出来上がったものを試食した。 ・5月21日(火)。	1	9
50	知って安心食中毒のまめ知識2	平成30年度	1 地 域 交 流	5 地 域		1 優先的に取 り組み	食中毒予防の知識を高めることでイベントや会食等で食品を提供する際に安心して活動できる事を目的とする。	食中毒に関する詳しい説明と調理場の汚れ度チェックと測定、および手洗いチェックなどを具体的な方法で行い、食中毒予防について学んだ。 ・8月30日(金)。	1	30
51	出張コーヒー隊	平成30年度	6 3 共 催 (2 と)	1 高 齢 者		1 優先的に取 り組み	地域向けにコーヒーを淹れる実践の場を設けることで担い手育成を行う。達成感や楽しさを味わうことにより、今後の自主的な活動への意欲を高めていく。	男性かがやき塾～コーヒー編～でドリップコーヒーの淹れ方を学んだシニア男性が、地域向けにコーヒーの提供を行う。今回は、実践編としてケアプラザ外の自治会館等で開催。 ・7月、11月実施。3月は新型コロナウイルスの影響で開催中止。	2	46
52	レクの先生と一緒に健康づくり	令和元年度	6 3 共 催 (2 と)	1 高 齢 者		1 優先的に取 り組み	神奈川県のリクリエーション事業者派遣事業を利用し、楽しみながらできる運動をご指導いただき、地域の高齢者の運動意欲を高め、体力づくりの支援を行う。また、地域で活動していただく担い手候補の発掘も目的に含める。	レクリエーションの講師から、高齢者の体力づくりに役立つ健康体操やゲームなどのご指導を受けた。 ・年1回11月。	1	26
53	レッツ！コグニサイズ	令和元年度	6 3 共 催 (2 と)	1 高 齢 者		1 優先的に取 り組み	地域のサロンや活動グループ支援の一環として、楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。また、地域活動の担い手候補の発掘も目的とする。	かながわ健康財団のコグニサイズ講師派遣事業を活用し、地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行った。 ・2月6日、13日。	2	53

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
54	ときメイト連絡会	平成28年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取り	認知症について正しく理解してもらい、認知症の人や家族を見守ることが出来る方を増やす事で認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして携わってもらう事を目的とする。	認知症サポーター養成講座を開催するに当たって、キャラバンメイトと定期的に連絡会を開催。 ・8月5日(月)、12月5日(木)開催。	2	18
55	常盤台わんこアワード2020	令和元年度	7 2と3 (1と)	5 地域		1 優先的に取り	愛犬の写真を募集し「わんこアワード2020」を開催、地域の活性化に役立てる。	日ごろから地域で散歩している犬の写真を公募し掲示、来館者に投票してもらいグランプリを決めて表彰した。	1	287
56	出張講座	令和元年度	2 包括	5 地域		1 優先的に取り	令和元年4月より配布開始されたエンディングノートの周知を行うなど、地域住民の方が自分の人生を自分らしく生きる為に権利擁護意識を高めていただくことを目的とする。	地域向けに6月「脱水予防の話」、8月「熱中症について」、10月「地域包括ケアシステム」。横浜国大大学院生向けに11月「超高齢化社会 地域包括ケアシステム」、横浜国大職員向けに「介護離職を防ぐ」、12月地域向けに「エンディングノート」の講座を開催した。	7	271
57	ときわの森 中学生が活躍するボランティア活動	令和元年度	1 地域交流	7 その他	中学生	1 優先的に取り	積極的にボランティア活動する意義や楽しさを感じ取ってもらいながら、将来につなげていく。	常盤台地域ケアプラザサービスに保土ヶ谷中学校の生徒が3名～4名来てレクリエーション等に参加し、高齢者と交流をした。 ・5月、6月、9月、10月、11月毎週水曜日。 ・7月、8月は子育て広場水遊びに参加。	20	66